

国際アートフェア art gent 2012

- ・会 期 : 2012年11月30日 ~12月4日
- ・主 催 : IJV-IFAS vzw

1981年にベルギーはアントワープで生まれたアートフェア Lineart (リニアート) は、その30年の歴史を経て31年目の今回よりその名を art gent (アート ゲント) として新生した。世界の数あるアートフェアの名称はアート・バーゼル、アート・ケルン等、その開催都市名を使用することが多く、その地に根ざした名称で親しまれている。また今回は名称のみでなく、このフェアを4部門 (YOUNG、B.ART、Lineart、VINTAGE+DESIGN) に分けて構成し傾向別に解り易く提案できるようになった。YOUNG は若手作家作品や若手画廊部門、B.ART は100%ベルギー美術部門、Lineart はこれまでのフェア名を残しつつ、中堅以上の画廊でモダン (物故作家作品) や写真までを含む部門、VINTAGE+DESIGN はその名の通りビンテージやデザイン家具その他商品的な部門である。

ここ数年は来場者が減少傾向にあった為、前回の Lineart 終了後には、このフェアは消滅するのではないかとの噂が流れ、主催者はその噂を打ち消すことに奔走していた。確かにフェア名としては消滅したといえるが、11月29日のベルニサージ (前夜祭) には来場者4000人との公式発表通り、ここ数年ではあり得ない程のたいへんな数の人々で大いに賑わった。そして同日、今年も最も優れた画廊に贈られる Gallery Award が発表され、世界から集まった出展画廊の中から日本より初参加のエモン・フォトギャラリーが Lineart 部門でグランプリを獲得し、賞金1000ユーロを手にした。一昨年の弊廊、昨年のシルバージュエルと、この賞にノミネートされたものの惜しくもグランプリをのがしていたが、とうとう日本の画廊がそれを獲得したことは快挙といえる。

昨今の世界的な不況の中、欧州も例外でなく景気は思わしくない。一昨年に出品し、Artist Award を獲得した地元アントワープの優れた画廊も経済的理由で閉店したと、当時我々の作品を購入してくれたその画廊オーナーから直接聞いた。欧州でも生き残りをかけた厳しい戦いが今もなお続いている。

それとは裏腹に今回の art gent は盛況で、人々の購買意欲も旺盛に感じたが、セールスの善し悪しが画廊によって顕著に分かれ、うなだれて愚痴をこぼすディレクターも少なくなかった。弊廊と付き合いの長いアントワープの画廊は大きくセールスをのばし、最終日には消耗した身体をソファに沈めながらワインを片手に満足げに微笑んでいた。

今回、我々は6作家11作品を頒布した。大作の頒布がなかったことは残念だが健闘できたと思う。毎年、または数年毎に購入してくれる顧客コレクター達、新たなコレクター、他の出展画廊のディレクターや出展作家、スタッフ等、購買層は多岐にわたる。今後も毎年増え続ける弊廊の現地コレクターへ更に良質な作品を披露すべく精進する所存である。